大阪工業大学

生命工学科　入学準備学習プログラム

学科長からのメッセージ

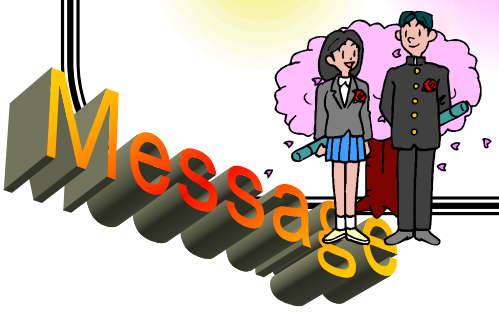
合格おめでとうございます！

新しい大学生活に向けて期待もあれば不安もあるでしょう。両親から離れて一人暮らしを始める方もいるでしょう。大学生活は、いずれ社会へ出て自立するための準備、そして訓練の期間でもあります。でも心配無用です。生命工学科は皆さんをしっかりとサポートします。たとえば入学直後の1年生の前半は、ほぼ毎週10人程度のグループに別れて自分たちで考えた実験テーマなどに取り組みます。そこでは担任教員と話す機会がありますし、気の合う友達を見つけて勉強の相談をすることもできるでしょう。

大学でやりたいことを考えましたか？　もちろん勉強は大事ですが、それ以外のこと、クラブやサークル活動、友達との遊びなども実は大事です。大学時代は、一生を左右するといってよいほど、自分が大きく育つ大切なときです。希望をもって充実した大学生活を送って欲しいと思います。

大阪工業大学生命工学科は、工学部の中で生命科学を勉強する学科です。命を知る勉強や研究だけでなく、命のしくみを利用する、命のしくみを作り出す勉強や研究ができます。また、食品衛生管理者などの資格も取得できます。生命工学科には生物･食品･医学･工学の様々な分野を専門とする教員がいます。2年生から3年生前半までの1年半をかけて、全ての研究室で実験･実習を行います。そこでは、研究室の設備を利用し、大学院生に手伝ってもらいながら、各研究室が用意したテーマで実験･実習を行います。その後、3年生後半から（先進研究クラスでは2年生後半から）は希望する研究室に分かれて所属し、卒業研究に取り組んでいきます。、早くから少人数で問題を解決していく訓練を続けていくことが生命工学科の特徴です。社会に出てから大切なコミュニケーション能力や問題解決能力を身につけることができるでしょう。

生命工学はこれから伸びていく分野です。2012年のノーベル賞の対象となったiPS細胞も、再生医療や創薬分野で実用化への秒読み段階を迎えています。皆さんが勉強･研究することが、広く社会で役立つ時代が到来します。そこでは、金属やプラスチックに代わって、細胞やタンパク質が主役です。皆さんの知識や技術力が日本の将来を支えることになります。4月からのご入学を、教員一同、心から待っています。



生命工学科
学科長　藤里　俊哉